

この本は第二次世界大戦中、フランスのピレネー山脈の小さな村に住むジョーのお話です。なぜこの本を選んだかという、だからです。

私は第二次世界大戦 / ナチス・ドイツ / ユダヤ人の迫害 について あまり詳しく知りませんでした / 授業で勉強しました / とても興味を持ちました / 今回初めて知りました / はじめて知ることがたくさんありました。

ドイツ軍はイギリス、フランス各地に影響を与えました / 侵攻していきました。今、私たちの生活の中で戦争や軍隊による占領について考える機会は だと思います。

この本を読んで、もし自分にこのようなことが起きたらと考えると、だと思いました。

この本に出てくるジョー / ユダヤ人 / 戦争 についてのお話は なところが信じられませんでした / おどろきました / 興味を持ちました / 残酷だと思いました / もっと知りたくなりました。

この本を読んでおどろいた / 悲しくなった / 記憶に残ったことは、です。
なぜなら、だからです。

そして、ということもはじめて知りました。

もし私が（父親を収容所に連れていかれた / 村に来た軍隊に従わなくてはならない）ジョーの立場なら、だと思いました。

私はこの本の中で 恐ろしさを感じた / 残酷だと思った / 怒りを感じた / 自分には耐えられないと思った ことは、です。

という点 / ところが
と感じました / 思いました。

この本を読んで 心が動かされた / 感動した / ドキドキした / 胸が締めつけられた 言葉 / 場面 / シーン は、
です。

もし私が ジョー / ベンジャミン / ユベール / ○○○ なら、だからです。

村人全員で（命がけになる）子どもたちを逃がす計画を立てたとき、私は と
思いました / 考えました / 心配しました。

もし私がこの計画を実行 / 参加 することになったら、と感じました / 思いました。

□この物語は本当にあった話ではないけれど、ナチス・ドイツから逃れようとたくさんの人が、危険をおかして国境を越えたということは 事実 / 本当にあったこと です。私は

だと思いました / だと感じました。

□私も【悲しい思い出を話したくないと感じたこと / つらい・思い出したくない出来事を話せなかった体験】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /

どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。そのこと / 体験から、(つらいことはいつまでも心に残る / 平気だと思っても悲しい

記憶は簡単には消えない / ひどい思い出は時間が経っても / どんなにつらいことでも忘れてしまっては /

だと思いました / という気持ちがわかります。

□しかし、つらい / 悲しい / 残酷な記憶を物語として伝えることで、私たちは、

だと思いました / だと感じました。

□私はこの本を読みながら、もし戦争のおそろしさ / ユダヤ人が迫害されたこと / 軍隊に支配される恐怖 を、

たくさんの人に / 後世の人に / 若い世代の人たちに 伝えることがなかったらどうなるのだろうか考えました。

そのことを考える / 想像すると、この物語を通じて

ということ伝えることの意義 / 必要性を感じることができました。

だから、私はこの本を読んで

と思いました。 / 考えました。

□実際に体験した人たちの 記憶 / 話 をもとにした物語だからこそ、今まで 戦争 / 軍隊の怖さを実感することが

できなかった私たちに、身近に / 現実的に / 興味を持って / 自分におきかえて 感じるができるのだと思います。

□今、日本人のほとんどの人が戦争を体験していません。私は (戦争を知らないということは)

なのではないかと思いました / 考えました。

□「平和」であることがあたりまえだと 考えずに / 感じることなく、

だと思いました / だと感じました。

なぜなら、

だからです。

□最後に、この物語の後、ジョー / ジョーの家族 / アーニャ / 村の人々 には、

(なって欲しい) と思いました / 想像しました / 望みました。